

# 新・東の風

令和6年度  
5月号

1年生は入学して3週間が経過しました。部活動編成式も終わり、正式な部員として活動していることでしょう。楽しく中学校生活を送れていますか。困ったことがあれば、先生方に相談してください。

本校卒業生は様々な分野で活躍されています。機会が合えばぜひとも本校にゲストとして招待したかった人が、大阪を代表する名店「串かつだるま」の代表取締役社長兼会長である上山勝也(28期生)さんです。私の二つ下の学年にあたり、大昔よく遊んでいました。ひょんなことから再会し、講演をお願いすると、快く引き受けていただきました。ただし、もう一人連れて行っているのですか？中学生に一人で話すのは恥ずかしいので、ということで同じく本校卒業生の吉本芸人ぼんちきよしさんが進行役で来られました。高校進学の失敗、強烈な出会い、人生のターニングポイント、大切にしていることなどたくさんお話ししてくださいました。講演後、みなさんに書いてもらった感想文の一部を紹介します。

「今日は講演に来ていただきありがとうございました。中学生になり将来のことについて考える歳になってきました。お話の中で40歳で転職という必死の決断をされていて、ぼくも大人になり仕事を変えないといけないという日がやってくるかもしれないけど、上山さんのように変に变えず、受け継がれてきたものをそのまま受け継ごうと思いました。感謝の気持ちと謙虚な気持ちを忘れず、これからも中学校生活、がんばっていきます」(1年生)

「ぼくは小路小から東生野です。なので大先輩です。

ぼくはラグビーをしています。上山さんもラグビーがしたかったけど、高校で落ちてくやしかったと思うので、上山さんの分までラグビーをがんばります」(1年生)

「今日は来てくださってありがとうございました。講演会というものに馴染みがなく、どういうものかあまりわからなくて緊張していたけど、話が面白く楽しかったです。今日話を聞いて感謝の気持ちを大切にしようと思いました。他にもたくさん話を聞いて、将来に生かして頑張ろうと思いました」(2年生)

「串カツだるまには行ったことがないんですけど、今回の話を聞いて人と人との繋がりと努力することがとても大切だと思いました。また、謙虚と感謝についての話もとても素敵だなあと感じました。機会を作ってだるまに行ってみたいと思います。自分も努力し続けていきたいです」(2年生)

「お話を聞けてとてもいい経験になりました。特に進路のことを聞いて、今やるべきことをしっかりしておけば人生何とかなると思いました。少し気持ちが楽になりました。あと、万博に行ってみたいと思いました。中学最後の一年間、感謝と謙虚の気持ちを忘れずにやっていきます」(3年生)

「今回の話を聞けて、将来の夢を見つけられていなくて不安もあったけど、これからの色々な縁、人とのつながりがあって努力すればなるようになるという言葉で不安が減りました。これから周りの人、環境に感謝することを忘れずに努力しようと思います。そして、万博も串カツだるまさんにも行きたいです」(3年生)

